

204(3-3) 複層林における植栽木の成長試験(落合 3 9 ぬ)

試験期間 S59～

最終調査年度 令和5年

2023年

1 設定の目的

木材生産機能と水土保全等の公益的機能との調和を図る非皆伐施業方法を開発する。

2 場所等

下呂市小坂町落合字唐谷 2 3 7 6 - 1 落合国有林 3 9 ぬ林小班

機能類型：水源涵養

3 面積

8.51ha (林地 8.16ha 林道敷 0.20ha 沢敷 0.15ha) プロット 0.10ha

4 施業等の概要

時期	林齢	作業種	内容
明治28年	1	植栽	ヒノキ上層木植栽
昭和59年	90	複層伐	本数率50%、材積率50%で全域伐採
昭和60年	91	地拵	地拵実施
昭和61年	92	植栽	下木ヒノキ 1,887本/ha植栽 (合計15,400本植栽)
昭和61～平成4年	92～98	下刈	7回下刈実施
昭和62～平成3年	93～97	カモシカ、野鼠防除	ヤシマレント塗布外
平成12年		受光伐	本数率26%、材積率29%で受光伐実施
平成23年		つる切	つる切実施
令和2年		除伐	30%

5 調査計画等

下木に対する①成長状況調査、②林内相対照度の測定を実施してきている。現在までの経過観察による結果から、複層林内が対象区(皆伐)に比べ肥大成長が劣っているが上木樹冠の遮光による陽光不足が原因と考えられる。

平成12年度に受光伐を実施。結果については12年度研究発表を参考。

なお、引き続き下木に対する調査を継続すると共に、下木の保育作業についても記録していくものとする。

6 地況

標高	950m～970m
平均林地傾斜	32度
方位	北西
土壌型	B _D
林内相対照度	受光伐前：10% H12伐採後：44% H30：2% R5：3%

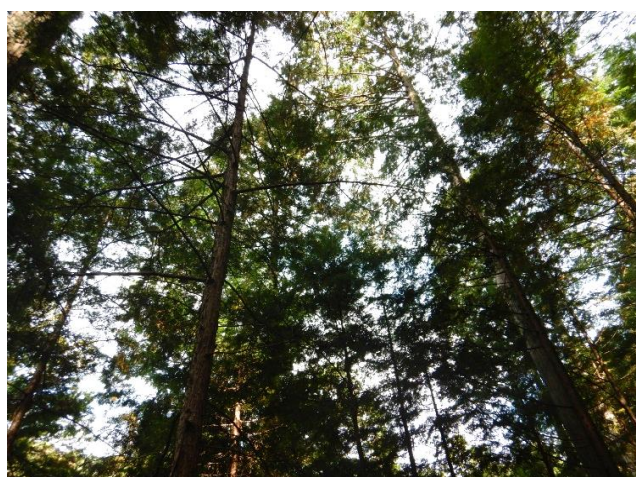
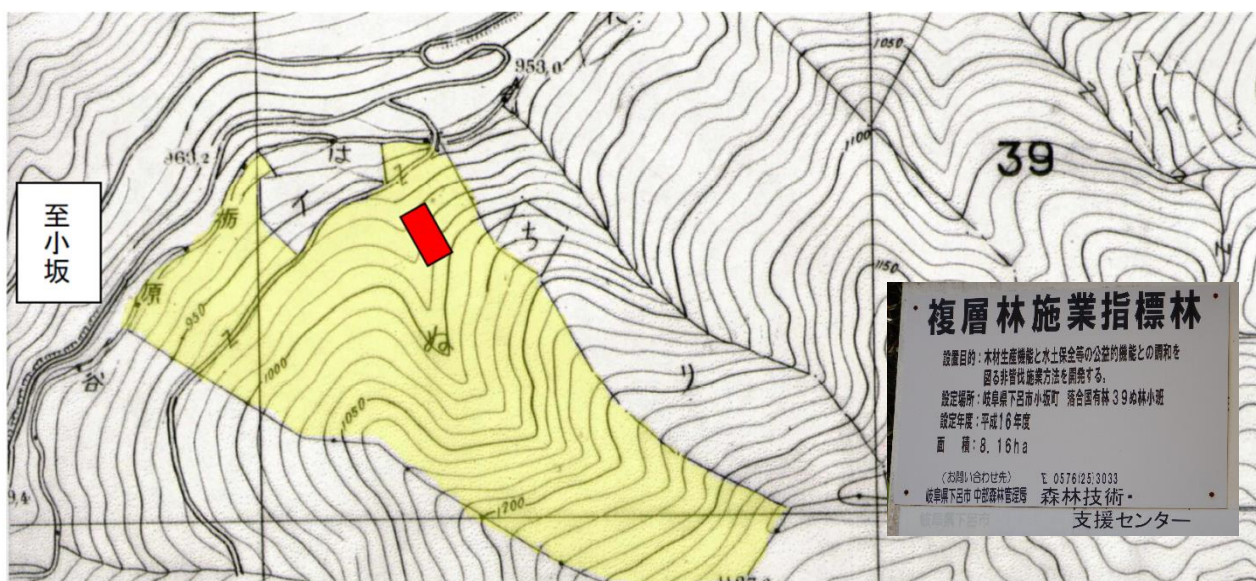
7 プロット現況

上木

年度	平均胸高直径 (cm)	平均樹高(m)	平均材積(m³)
H?年	46.50	22.10	1.58
H22年	52.10	30.43	2.71
H25年	51.24	31.69	2.79
H30年	54.64	30.71	2.95
R5年	56.88	32.29	3.31

下木

年度	本数	本数/ha	平均胸高直径 (cm)	平均樹高(m)	照度(%)	照度H15 : 32%
H20年	135	1,350	10.33	8.80	5	本数には天然木 2本含む
H22年	137	1,370	11.12	10.22	—	
H25年	134	1,340	12.41	11.14	4	照度のみR6実施
H30年	135	1,350	13.48	12.12	2.0	
R5年	99	990	15.16	14.18	3.1	



R5.10.19 撮影